

“VIP な透析療法”

In-Center Hemodialysis Six Times per Week versus Three Times per Week

【背景】北米では、透析を毎日行う方がよりよい人生を送れるに違いないと、daily HD 推進運動を展開するネットワークがあるそうで、その医学的根拠を確かめようと、6 施設が参加した無作為化試験が行われました。

【方法】現在、通常の週 3 回の透析を行っている患者 245 例を 12 ヶ月間、週 6 回群と週 3 回群に無作為に割り付け、co-primary outcomes として、死亡と死亡に強く関連する左室体積の変化を MRI で評価するとともに、QOL score についても RAND-36 調査を用いた検討が行われました。

【結果】週 6 回群は、現実には平均 5.2 回/週の透析を受けており、1 回の透析時間は、4 時間から 2 時間半に短縮されました。また、透析効率(標準 Kt/Vurea)は週 3 回群と比較して明らかによく、その結果、死亡に関連した co-primary outcomes に有意な改善を認めました。また、QOL score の改善と、透析前リン濃度や血圧の改善も認めました。一方、透析針刺しなどに関するトラブルは週 6 回群の方で増加を認めていました。認知機能、うつ症状、Alb 濃度、EPO の使用などに有意な変化は認めませんでした。

【結論】このように、週 3 回の透析を 4-5 時間かけて行うより、毎日 2.5 時間の透析を受けていく方が、身体的にも QOL においても利があり、不利益な点は、唯一針刺しのトラブルが増えることだけというのが、今回の結論のようです。無論、週 6 回透析での費用や透析スタッフの確保などについてはほとんど触れられてはおりません。保険の種類や値段によって、治療法が異なる米国ならではの研究であり、仕事帰りに透析に寄って、次の会食に向かう VIP な透析療法推進研究では？と思ってしまうのは、僕だけでしょうか？(文責 阿比留)